

電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会
電気学会 電磁界理論技術委員会
2025 年度 第2回合同委員会 議事録

日時 : 2025 年 12 月 16 日 (火) , 16:20 ~ 17:50

会場 : 日本大学理工学部 駿河台校舎 1 号館 122 会議室 (ハイブリッド開催)

出席者 :

(電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会)

鈴木 委員長 (都立大), 佐藤 副委員長 (新潟大), 杉坂 幹事 (北見工大), 田中 幹事 (三菱電機), 長坂 幹事補佐 (足利大), 尾崎 委員 (日大), 石田 委員 (九産大), 新納 委員 (三菱電機), 田中 委員 (岐阜大), 中 委員 (宮崎大), 夏秋 委員 (東京大), 藤田 委員 (埼玉工大), 宮田 委員 (都立産技高専, Web), 渡辺 委員 (福岡工大), 柴山 委員 (法政大), チャカロタイ 委員 (NICT), 出口 顧問 (同志社大), 平山 顧問 (北見工大), 廣瀬 顧問 (東京大)

(電気学会 電磁界理論技術委員会)

柴崎 委員長 (都立産技高専), 石田 幹事 (九産大), 尾崎 幹事 (日大), 夏秋 幹事補佐 (東京大), 大平 委員 (同志社大, Web), 鈴木 委員 (都立大), 芹澤 委員 (沼津高専, Web), 中 委員 (宮崎大), 西本 委員 (熊本大), 道下 委員 (防衛大)

議題

(電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会)

1. 2025 年度第 1 回合同委員会議事録の確認 【鈴木委員長】
鈴木委員長から報告あり、承認された。
2. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号論文について (2026 年 4 月号) 【尾崎前幹事】
尾崎前幹事から報告があった。
論文締切りを約 2 週間延長し、合計 7 編の投稿があった。海外からの投稿で参考文献の記載不足や連絡不通等の問題があり、再投稿も発生した。査読の結果、掲載対象論文は 3 編となった。
3. 電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号論文について (2027 年 4 月号) 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から報告があり、次年度の小特集号企画書が受理・承認された。
論文投稿締め切りは、2026 年 3 月 31 日を予定している。
4. 2025 年電子情報通信学会ソサイエティ大会エレス学生奨励賞候補者推薦 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から報告があった。
岡山大学でのソサイエティ大会で、EMT セッションで学生講演の 10 件が選考対象となった。推薦枠は 2 件であり、審査員の採点結果に基づき、平林祐一 (法政大) 氏と堺智博 (都立大) 氏を推薦した。
5. 2025-2026 年度の電磁界理論研究専門委員会活動計画について 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から報告があり、活動計画について承認された。
ソサイエティ大会は、2026 年 9 月 23 日~25 日の 3 日間、2027 年 1 月研究会は主幹幹事が EMT 研専であることを確認した。講習会や EMT ポスターセッションなどは、継続していく方針が確認された。
6. 2026 年電子情報通信学会総合大会公募セッション提案について 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から公募セッションの提案について報告があり、承認された。
総合大会 (2026 年 3 月) にて、卒研究生を中心に大学院進学者との交流を目的とした EMT ポスターセッションが提案された。研究会活性化費として、表彰状と副賞、ポスター印刷配布用の費用を申請し、承認された。想定参加者数は 10 名弱で、受賞者は 2 割程度 (1~2 名) の見込みで、セッション時間は 90 分で調整中である。エレス学生奨励賞の対象になることも確認した。

7. 2026 年総合大会公募セッション ポスター賞選奨規程および選考基準について 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から選奨規定および選考基準について報告があった。
新しいポスター発表賞設立に伴う選奨規定案について審議された。候補者は「35 歳以下の大学院生も含む学生」を基本とする。受賞者数は全発表者の 2 割程度、受賞回数は一度限り、エレス学生奨励賞との重複受賞は認めない方針で、エレス学生奨励賞を優先させる。表彰式は翌年 5 月研究会で実施予定だが、卒業時期の関係で、今後は 3 月中やセッション内での実施も検討する。選定基準（研究の将来性、学生の主体性、プレゼン内容、ポスター完成度）に関して、「学生の主体性」を重視すべきとの意見が出た。採点の重み付けは内規で調整することで合意した。一般セッションとの棲み分けや、学部 4 年生以外の参加資格、募集要項の文言の矛盾について議論があり、メール審議で詳細をまとめることになった。
8. 2026 年度電磁界理論シンポジウム準備状況について 【田中後任幹事】
田中幹事から 2026 年度電磁界理論シンポジウム準備状況について報告があった。
開催地候補として、福山市、倉敷市、甲府市、洲本市（淡路島）の 4 案が提示された。広島県福山市を第一候補地として、詳細な調査（特に合宿形式の可否や費用感）を進める。田中幹事が福山市での開催可能性（特に宿泊形式）を調査し、3 月の合同委員会で再度報告する。
9. 2027 年度 1 月研究会準備状況について 【田中後任幹事】
田中幹事から報告があった。
京都大学・楽友会館とキャンパスプラザ京都が候補に挙がり、キャンパスプラザ京都の方が安価に利用できる可能性が高いことが示された。開催形式はパラレルセッションではなく、シングルセッションを前提とする。キャンパスプラザ京都を候補地として、調整を進めることになった。
10. EMT 研、AP 研の合同研究会開催について 【田中後任幹事】
田中幹事から報告があった。
AP 研側から合同開催の要望があり、現在、開催可否や方法について議論中である。両研の開催月を合わせるの難しいため、AP 研の 4 月開催を 5 月にずらす案や、AP 研のイベント内に EMT 研のセッション枠を設ける案などを検討中。委員からは合同開催に異論はなく、段階的に（まずは交流会やセッション枠の提供から）進める方針となった。まず交流会形式での連携を田中幹事と AP 研幹事の間で打診する。
11. 第 0 回 EMT 講習会開催結果について 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から 2025 年 9 月に試験的に開催した第 0 回講習会の報告がされた。
参加者（学部生・院生が半々）は 7 名で収益は 1 万 4 千円となった。理論パートに比べ、プログラミング実習パートの方が好評だった。第 1 回では実習の割合を増やし、内容をブラッシュアップする。
12. 第 1 回 EMT 講習会開催計画について 【杉坂前任幹事】
杉坂幹事から第 1 回講習会開催計画について報告された。
2026 年 5 月に第 1 回講習会を開催予定であり、日時と会場について検討中である。社会人参加者を見込む場合は平日開催が望ましいが、学生参加者の授業との兼ね合いが課題となる。開催時間（午前・午後）についても、今後の検討課題となった。開催日時と時間割について、3 月の合同委員会で再度審議する。
13. 2025 年度 EMT 研学生優秀発表賞の選考方法について 【長坂幹事補佐】
長坂幹事補佐から選奨規定の改定案について報告があり、承認された。
「2 年連続の受賞は認めない。ただし、連携学会（電気学会）での発表賞も含む」と明記し、重複受賞に関する曖昧さを解消した。表彰状の保存媒体に「フォルダー」を追加した。副賞の金額を 3000 円から 4000 円程度に変更した。
14. 2025 年度研究専門委員会（第 2 四半期）活動費収支会計報告について 【長坂幹事補佐】
長坂幹事補佐から報告があり、承認された。
EMT 講習会開催のための銀行口座を開設した。無利息口座へ移行する手続き中であり、完了次第、事務局からの入金処理に進む予定である。
15. ISAP 国内委員会に関する報告 【鈴木委員長】
鈴木委員長から報告があった。

2029年のISAPを日本へ招致する提案が承認された。EMT 研専として、1セッション提案する方向で準備する。

16. エレゾ運営委員会に関する報告 【鈴木委員長】
鈴木委員長からエレゾ運営委員会での報告事項が説明された。

シニア会員の推薦として、推薦した候補者（石田先生、後藤先生、中先生、尾崎先生、阪本先生）が執行委員会で承認された。2026年ソサイエティ大会への公募セッション提案は、3月の総合大会（ポスターセッション）を優先するため、今回は見送る。

17. IEICE エレゾ News Letter10月号への寄稿（電磁波基盤技術領域委員会） 【鈴木委員長】
鈴木委員長から、エレゾのNews Letter 10月号において、電磁波基盤技術領域委員会の委員長としてEMT 研専の活動報告や紹介を掲載したことが報告された。

18. 2025年度電磁界理論研究専門委員会委員構成(案)と次年度交代などについて 【鈴木委員長】
鈴木委員長から報告があった。
田中幹事の後任（2026年度～）について、地域バランスを考慮し、地方大学所属の委員から選出する方向で候補者の調整を進める。委員会への長年の貢献を鑑み、川口先生を新たに「顧問」として推戴することが承認された。

（電気学会 電磁界理論技術委員会）

1. 電気学会 A 部門 活動資金等について（電磁界理論技術委員会） 【柴崎委員長】
柴崎委員長から A 部門（基礎・材料・共通部門）活動資金等について報告があった。

今年度は、例年通り、予算を確保できたため、特別講演講師への謝金を3万円ずつ支出することを提案し、承認された。来年度の活動資金は、例年通り確保できており、謝金2万円分は確保できた。研究会資料の購読者数や発表件数の減少に伴い、活動資金が減額傾向にあり、活動補助金が2万3千円から減額された場合は、謝金が3万円に届かなくなる恐れがある。

2. 電気学会『優秀論文発表賞（基礎・材料・共通部門表彰）』規程 【柴崎委員長】
柴崎委員長から報告があり、承認された。

今年度は、電気学会優秀論文発表賞 A 賞は選考しないが、A 部門表彰は行う。選定の際は、辞退者のことも考えて2名選定する。A 部門発表賞に該当した場合は、2月上旬までに候補者が会員になっていなければならない。

3. 電気学会優秀論文発表賞 A 賞および基礎・材料・共通部門表彰候補者選定基準 【柴崎委員長】
柴崎委員長から報告があり、承認された。

4. 令和7年度 A 部門研究会での「優秀論文賞」受賞者選定のお願い(1/12㍻切) 【柴崎委員長】
柴崎委員長から報告があり、2026年1月12日までに選定結果を柴崎委員長へ報告することになった。

5. 「研究会資料」の名称変更等について 【柴崎委員長】
柴崎委員長から報告があった。

「研究会資料」の「研究会論文」への名称変更について審議した結果、本委員会の回答は、現状の「研究会資料」という名称を維持し、変更しないということになった。他に、部門大会での技術委員会の紹介資料を A 部門ホームページへ掲載できないかという提案があり、今後、技術委員会の紹介資料の一定のフ

フォーマットでの作成・掲載を求められる可能性がある。

6. 「研究会資料当日販売価格見直し」と「研究会参加費見直し」について 【柴崎委員長】

柴崎委員長から報告があった。

予算が不足している関係で、研究会資料当日販売価格見直し（電子版：一般 300 円→500 円／会員 200 円→300 円（税別，論文単価）、オンデマンド冊子版は据え置き）や研究会参加費見直し（部門内：会員 2000 円，学生員 2000 円（発表），学生員無料（聴講），非会員 5,000 円 非会員学生 2,000 円）が検討されている。ただし、連催の場合は、「参加費無料」で現状維持のため、本技術委員会における影響はない。

7. 2026 年 1 月光合同研究企画シート 【石田幹事】

柴崎委員長から報告があった。

8. その他

特になし。

以上

資料

(電子情報通信学会 電磁界理論研究専門委員会)

No. 123-1	2025 年度第 1 回合同委員会議事録の確認	pp. 3-6
No. 123-2	電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号論文について (2026 年 4 月号)	pp. 7-8
No. 123-3	電子情報通信学会英文論文誌 C 小特集号論文について (2027 年 4 月号)	pp. 9-10
No. 123-4	2025 年電子情報通信学会ソサイエティ大会エレソ学生奨励賞候補者推薦	p. 11
No. 123-5	2025-2026 年度の電磁界理論研究専門委員会活動計画について	pp. 12-13
No. 123-6	2026 年電子情報通信学会総合大会公募セッション提案について	pp. 14-16
No. 123-7	2026 年総合大会公募セッション ポスター賞選奨規程および選考基準について	pp. 17-18
No. 123-8	2026 年度電磁界理論シンポジウム準備状況について	pp. 19-26
No. 123-9	2027 年度 1 月研究会準備状況について	pp. 27-28
No. 123-10	EMT 研、AP 研の合同研究会開催について	pp. 29-30
No. 123-11	第 0 回 EMT 講習会開催結果について	pp. 31-34
No. 123-12	第 1 回 EMT 講習会開催計画について	p. 35
No. 123-13	2025 年度 EMT 研学生優秀発表賞の選考方法について	pp. 36-40
No. 123-14	2025 年度研究専門委員会 (第 2 四半期) 活動費収支会計報告について	pp. 41-44
No. 123-15	ISAP 国内委員会に関する報告	p. 45
No. 123-16	エレソ運営委員会に関する報告	pp. 46-47
No. 123-17	IEICE エレソ News Letter10 月号への寄稿 (電磁波基盤技術領域委員会)	pp. 48-49
No. 123-18	2025 年度電磁界理論研究専門委員会委員構成(案)と次年度交代などについて	pp. 50-53

(電気学会 電磁界理論技術委員会)

No. 2025-ETC3-1	電気学会 A 部門 活動資金等について (電磁界理論技術委員会)	pp. 54-60
No. 2025-ETC3-2	電気学会『優秀論文発表賞 (基礎・材料・共通部門表彰)』規程	pp. 61-62
No. 2025-ETC3-3	電気学会優秀論文発表賞 A 賞および基礎・材料・共通部門表彰候補者選 定基準	pp. 63-64
No. 2025-ETC3-4	令和 7 年度 A 部門研究会での「優秀論文賞」受賞者選定のお願い(1/12 ページ)	pp. 65-68
No. 2025-ETC3-5	「研究会資料」の名称変更等について	pp. 69-71
No. 2025-ETC3-6	「研究会資料当日販売価格見直し」と「研究会参加費見直し」について	pp. 72-78
No. 2025-ETC3-7	2026 年 1 月光合同研究企画シート	p. 79